

大崎上島町
社協だより

No. 129

2014(平成26)年1月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会(TEL 62-1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



ふくしのまちづくりのつどい

～住み続けたい願いをかなえる島～



島で
暮らす



平成25年12月15日(日)ホール神峰で、第2回「大崎上島町ふくしのまちづくりのつどい」を開催し320名のご参加をいただきました。表彰式典は、社会福祉協議会会長と老人クラブ連合会会長から感謝状や表彰状の贈呈を行いました。体験発表は、家族の介護や要介護者となった体験を、基調講演では、酒井保氏と丸山法子氏をお迎えし、高齢者と地域包括ケアについて講演をいただきました。



「年頭のあいさつ」

社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会
会長 小林 弘 晃

あけましておめでとうございます。
皆様おそろいで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

地域社会のつながり、連帯感はコミュニケーションによって生まれます。

ご近所という圏域があつて、そこでは自ら進んで困った人に手を差し伸べる人、目立たないところで世話を焼く人々の存在もあります。大崎上島の人々にはこのような「支え合い」をベースにした地域コミュニティの文化があり、そこには濃厚な「連帯感」も存在しています。

～住み慣れた地域で自分らしい

暮らしを続けることができる地域づくり～

が、今とても求められており、町民が主体となって「身近なところで、身近な人々を支え合える地域社会づくり」が実践されています。

このような取り組みが町のみなさんの共感をいただきながら継続されていくなれば、高齢になっても、障害を持っていても、誇りと喜びをもって暮らせる町になります。

また、人々が孤立しないように、ちょっとした変化が把握できるように、近隣の生活圏の中で優しく見守る活動が広がっていくことにも繋がっていきます。

一方で、町民の皆様がいつまでも元気で心安らかに暮らしていくためには、自らも積極的に社会に溶け込み「生きがいを見つける・健康づくりをする」ことも大切なことです。

これからも、この町に住んでいる人々が、地域福祉について自分に何ができるかを問いかけながら、お互いが協力し合える地域社会づくりが推進されればと願っています。

大崎上島町社会福祉協議会役職員一同、地域福祉の担い手としての役割を十分に認識し、さらに努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

○基調講演

— ふくしのまちづくりのつどい —

「島の暮らし。未来の暮らし。～高齢者と地域包括ケアを考える～」

今回、グループホーム アイリーフ施設長、酒井保さんと、リエゾン地域福祉研究所代表理事、丸山法子さんを講師にお迎えし、笑顔溢れる講演になりました。

これからの、島暮らしをより良いものとするためには、「豊かさ」とは、「本人の自分らしさ」であり、その実現のために支え合うことが重要になるということが挙げられました。

支え合うとは、どちらか一方通行ではなく、双方向のものであり、本人と地域がどうつながっていくのか、活かしあえるのかということを考えていくことが大切になります！



「介護される側」
誰もがゆく道、来る道、通る道。
いずれのための準備かな！



○体験発表

家族の介護や、ご自身が要介護者となった体験を発表していただきました。介護者として、また、介護を受ける側としての苦労や悩みは尽きませんが、地域の介護施設、家族会、地域住民などの支援により、住み慣れた地域で過ごされています。各関係機関や地域住民が連携し合う包括的な支援をこれからも大切にしていきましょう。



○発表者・・・山本久子 様

介護は、本人と介護者、経験者しか理解できない事がたくさんあると思います。身近に支援して下さる人がいて、初めてわたしたちも、自分の家で過ごせるのだと思います。

○発表者・・・中本昇三 様

介護が必要となっても、趣味の俳句をきっかけとしながら人とのつながりの中で、住み慣れた地域で暮らしていける喜びをみなさんに伝えたいと思っています。

赤い羽根共同募金に

ご協力ありがとうございました。



ひかり園

見てみて、ぼくらもドラえものの募金箱（たすけあい運動）に参加したよ！



大崎上島中学校

10月1日～12月31日の期間、町内の各世帯・企業・商店・小中学校・幼稚園・保育園等々からさまざまな方法で募金活動にご協力をいただきました。

赤い羽根共同募金は町民が安心して安全に暮らせる町づくりをめざした全国的な「たすけあい運動」です。

募金金額は次号にてお知らせします。



木江小学校

「うつ」を予防しましょう

うつは誰でもなる可能性のある病気です

うつは、特別な人がかかる病気ではありません。15人に1人以上が一生のうちうつを経験するというデータ（厚生労働省調べ）もあり、うつは特別な病気ではなく、誰もがなる可能性があります。また、高齢者は比較的うつになりやすい環境因子（配偶者との死別・持病の悩み・住み慣れた家からの引っ越し・経済的不安・社会的役割の低下・家族の介護・社会的孤立など）が多いため、注意が必要です。

適切な治療やケアを受ければ、うつは回復する病気です。放っておいても自然に治癒するだろうと考えるのは禁物です。

うつ気味のときの日常生活のヒント

1. つらい気持ちは家族や友人に話しましょう
2. 生活リズムを整えましょう
3. 十分に休養をとりましょう
4. 仕事や家事の負担を軽くしましょう
5. 薬をうまく利用しましょう
6. 重要な決定は、時間をかけて判断しましょう



※「疲れやすい」「意欲がわかない」など、いつもと違う感覚はうつのサインかもしれません。

そんな自分に気づいたら、休養をとることを心がけましょう。がんばりすぎない事が肝心です。

《相談窓口・問い合わせ》



大崎上島町地域包括支援センター（担当：藤原 小松 田原）

大崎上島町木江5-9（木江保健福祉センター内） ☎67-0022

ご寄付

ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【平成25年12月13日～平成26年1月15日お申し出分】

【香典返し】

- ・大串 林 隆聖 様 (故父 昌之 様)
- ・大串 玉田 正行 様 (故父 真司 様)
- ・中野 岡本 花江 様 (故夫 俊治 様)
- ・中野 亀田 修子 様 (故夫 忠博 様)
- ・中野 金子 秀信 様 (故父 久夫 様)
- ・東野 望月 正之 様 (故父 幸徳 様)
- ・木江 竹下 勝利 様 (故父 守 様)
- ・沖浦 奥村 実智夫様 (故父 有利 様)
- ・沖浦 山岡せつ子 様 (故夫 豊 様)
- ・明石 下本 義昭 様 (故父 寶藏 様)
- ・明石 佐渡原昭徳 様 (故母 テルコ様)

【生前のお礼】

- ・呉市 山本 富子 様 (故姉 浜田民子様)
- ・東野 坂本 和直 様 (故父 坂本順一様)

【一般寄付】

- ・大串 坂岡 英治 様 (福祉用具借用のお礼)
- ・大串 玉田 正行 様 (福祉用具借用のお礼)
- ・中野 檜山 善茂 様
- ・中野 松本喜四男 様 (福祉用具借用のお礼)
- ・東野 渡辺 茂 様 (外出支援のお礼)
- ・匿名 (5名様)

お知らせ

“家族会”は知恵の宝 介護者家族会 ～2月定例会のご案内～

日時	平成26年 2月14日 (金) 午前10時～11時30分
場所	大崎老人福祉センター
内容	権利擁護の制度について

介護をしている方ならどなたでも参加できます。施設に入所されている家族の方も是非ご参加ください。

認知症の人と家族の会 ～2月定例会のご案内～

日時	平成26年 2月28日 (金) 午前10時～11時30分
場所	大崎上島開発総合センター 研修室
内容	コミュニケーションについて 家族座談会
対象者	認知症状がある方、介護をされている方など

高齢者総合教室(運動)のご案内

開催日	平成26年 2月13日 (木) 13:30～ 大崎産業会館 平成26年 2月14日 (金) 13:30～ 東野保健福祉センター
対象者	老人クラブ会員の方
申込み	単位老人クラブ会長、もしくは社協本所、支所まで

障害者スポーツ交流センター おいづる出前教室のご案内

日時	平成26年 2月20日 (木) 10:00～12:00
場所	西野屋内運動場
対象者	障害がある方およびその介助者
内容	障害者スポーツ等
申込み	大崎上島町社協本所、もしくは大崎上島町福祉課